

概要報告書

事業種別	広域安全事業
団体名	公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会
事業名	少年問題シンポジウム

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会はさる11月13日、東京・港区虎ノ門のニッショーホールにおいて全国の少年警察ボランティアなどを集めたシンポジウムを開催した。今回のシンポジウムには、少年警察ボランティアをはじめ、警察職員、学校関係者ら567人が参加し、4時間にわたり基調講演やパネルディスカッションを熱心に聴き入った。

20回目となる今回は「次代を担う少年の育成のために～少年に手を差し伸べる立ち直り支援～」をテーマに、家庭、学校、地域において果たす役割と必要とされる活動について、各方面の担当者が意見を交わした。

開会の冒頭には、遠山敦子・同協会会長のあいさつに続き、来賓である辻義之・警察庁生活安全局長があいさつをした。

その後、生島浩・福島大学大学院人間発達文化研究科教授が「ハイリスクな子どもと家庭への支援 ～非行臨床の観点から～」をテーマに講演した。

また、パネルディスカッションでは、大阪大学大学院人間科学研究科・藤岡淳子教授をコーディネーターに、里見有功・東京保護観察所保護観察官、山浦勝雄・東京都江戸川区立葛西第三中学校校長、稲垣喜夫・富山県少年警察ボランティア連絡協議会会長、井口由美子・警視庁少年育成課少年相談専門職員の4人パネリストとコメンテーターとして生島浩氏も加わり、それぞれの会見を述べるとともに、会場から寄せられた質問にも答えながら、活発な討議が行われた。



注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。